

北の縄文文化回廊
に向けたクラブ活動



通 信

第 14 号



勾玉づくり（ひろめ舟祭りにて）

目 次

1. はじめに	2
2. 平成23年度活動一覧	2
3. 各活動内容・参加協力	3
4. 関連活動	6
5. 縄文を学ぶ	8

1. はじめに

平成23年度の活動は、会員の皆様のご協力のもと無事終了することができました。第14回総会では活動報告や収支決算も無事承認され、1年間の活動を振り返り反省点や良かった事などが話し合われました。今年度最初の活動は4月に大船遺跡内やシーニックバイウエイに関連した清掃活動から始まりました。遺跡を見に来て下さる人達や、観光を目的に遠くから来て下さる人達の為に、気持ちよく見学して、来てよかったと思っていただけるよう、おもてなしの気持ちで清掃に励みました。また、関連活動として、北海道渡島総合振興局主催の事業に参加協力をさせていただき、「縄文文化体験ツアー」の縄文の土笛づくりの指導や土器づくり・土器野焼きなど多くの人達に喜んでいただきました。今後も関係機関と連携しながら、さらに縄文文化の普及活動をしていきたいと思っております。以下、平成23年度の活動内容を報告します。

2. 平成23年度 活動一覧

活動日	主な活動	参加人数	活動場所
4月16日	清掃活動	12名	大船遺跡
4月17日	第14回「北の縄文CLUB」総会	17名	ホテルひろめ荘
7月17日	アンギン編み機作成・コモチづくり	15名	南茅部公民館
10月22日	土笛づくり	15名	南茅部公民館
12月10日	アンギン編み	10名	南茅部公民館
2月4日	キャンドルdeナイト	50名	南茅部公民館周辺

(関連活動)

4月29日	シーニックバイウエイ 清掃活動	五稜郭公園周辺
5月12日	渡島総合振興局との打合せ	事業団
6月11日	ひろめ舟祭り 共催(縄文・伝統文化展示コーナー)参加協力	白尻漁港
6月18日	タニウツギの刈り取り	函館市安浦町
7月26日	渡島総合振興局との打合せ	事業団
7月30日	事業団主催縄文染めに参加	南茅部公民館
8月31日	渡島総合振興局との打合せ	事業団
9月10日	渡島総合振興局 縄文体験ツアー 土笛づくり指導	南茅部公民館
9月18日	北の縄文文化回廊づくり推進協議会総会出席	青森県
10月2日	渡島総合振興局 縄文体験ツアー 土器づくり指導	南茅部公民館
10月15日	渡島総合振興局 縄文体験ツアー 土器野焼き	大船遺跡
10月29日	国際シンポジウム協力	函館山
10月30日	国際シンポジウム協力	函館山
11月2日	南茅部地域文化祭 土器・土笛・勾玉他展示	南茅部公民館
1月14日	函館市市立博物館 アンギン編み指導	函館市
1月21日	キャンドルdeナイト用ろうそく整備	南茅部公民館
2月11日	縄文の漆フォーラム参加	縄文文化 交流センター

3. 活動内容

(1) 清掃活動

4月16日(土)午前10時、小雨降る中、史跡大船遺跡内の清掃が行われました。この活動は毎年オープン前に実施しているもので、遠くから遺跡を見学に来るお客さんの為に気持ち良く散策できるようにおもてなしの心を持って取り組んでいます。用意しておいた、小さいショベルや鋤簾、てみを持って、各自拾い始めると、ゴミは落ちていませんでしたが、その代わりにこの遺跡内に野生化した馬たちが夜になると遊びに来ようになり、来ては遺跡の中に落し物をしています。参加してくれた人達は顔をあげることなく一生懸命拾い集め、その量ときたら半端な多さではありません。軽トラックの荷台一杯よりまだ多く、大変な量でした。雨合羽を着ているせいか身体じゅうが汗で濡れてしまいました。後半になるとジョークが飛び交い「誰だー落して行ったやつはー」、「馬刺しにしてやるー」、「ちょっと臭いわね」など言っは、笑いが飛び交っていました。皆さん大変おつかれさまでした。



誰だ、落して行ったやつは!



ちょっと臭いわね

(2) 第14回総会

4月17日(日)午前10時、大船町にあるホテルひろめ荘にて、第14回総会がおこなわれました。昨日の雨が、嘘のような良い天気になり、汗ばむような感じさえうけました。最初に会長の挨拶から始まり、次に平成23年度の活動報告や決算報告、監査報告があり、皆さんに承認されました。続いて、新年度の活動計画案や予算案に入りいろんな要望や意見も出ましたが、無事承認されました。今回の総会に初めて出席した会員さんもいて、総会終了後には自己紹介や入会した経緯なども話されて、交流も深まりました。



総会の様子



自己紹介の様子

(3) アミ機・コモツチ作り

7月17日(日)アミ機づくりとコモツチ作りが行われました。材料は事前に買って準備しておいたものを使いました。穴を開ける人、角にヤスリをかける人、釘で打ち付けていく人、組み立てていく人、それぞれの分野に分かれ、流れ作業で進めていきました。手慣れたもので、参加された方達は、いとも簡単に完成させてしまいました。

コモツチに関しては、編み機製作の1週間前に事務局3人がかりで安浦町の山に行って、刈り取ってきたのですが、この時期は暑さも半端ではありません。涼しい朝早に集まって、タニウツギの木を探し、ちょうどコモツチにあう大きさの木だけを探して刈り採りました。このタニウツギはスイカズラ科タニウツギ属の落葉小木で田植えの時期に花が咲くので「田植え花」としても知られているそうです。北海道道南地域では7月に入ると、道路沿いの緑の中にピンクの花が咲き、ひときわ映えて見つけやすいです。ちなみに毛虫がついていることもあるので気をつけて刈り取ります。(虫よけスプレーも持参して完全防備です)



編み脚部分の穴開け作業



コモツチの穴開け作業



タニウツギの花



朝早くお疲れ様

(4) 土笛づくり

10月22日(土)、南茅部公民館第2研修室にて、土笛づくりをしました。粘土は地球にやさしいエコ粘土を使いました。今回で2回目の土笛づくりになります。1回目より2回目、回を重ねるごとに上手に作れるようになりました。はじめて挑戦した時はどのように作ったらよいか試行錯誤でしたが、2回目にはうまく作れるコツを覚え、良い形に仕上がりました。初めて参加した方もいて、「私にもうまくできるかしら」と言っていたのですが、上手に形ができました。

次の不安は、はたして音が出るかどうかなのですが、恐る恐る唇を土笛に触れて息を吹いてみたところ、なんと縄文の音が出たではありませんか。深みのあるいい音です。顔に笑みがこぼれて、周りの見ている人達もほほえんでいました。こんな雰囲気がたまらなくいいですね。

(5) アンギン編み

12月10日(土)午前10時から南茅部公民館で、アンギン編みをしました。季節的に寒く、道路状況も悪い為か参加者は少なかったのですが、函館市内の方数名がかけつけてくれました。今回は大きめのアンギンに挑戦しました。その分時間も多くなります。結局時間内に編み上がらず、家に持ち帰って続きを編むことにしました。後日、成果品を持ち寄り、出来ばえを確認しました。



オリジナルの機会です



なかなか手ごわいぞ



時間が足りないわ

(6) キャンドルdeナイト2011 (シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート)

2月4日(土)1年ぶりのシーニックdeナイトが始まりました。今回クラブとしては、5回目のキャンドルdeナイトです。この時期になると心持ちわくわくします。それはテレビや新聞などでキャンドルの映像が流れて、なぜか心に明かりが灯されるからです。ろうそくの明かりは幻想的で遠い昔に帰ったような気持ちにさせてくれます。昨年3月11日忘れもしません、日本全国に衝撃が走りました。私達の心に大きな穴が空き悲しい出来事でした。ろうそくの火が消えてしまったようで、だからこそ皆の気持ちに明かりを灯してあげたい、そんな想いもありました。北海道内でもこの時期一斉にろうそくに火が灯ります。少しでも暖かさが感じられればいつも思いながら活動しています。ワックスキャンドルの整備する時間もあまりなかったのですが、恵みの雪があり雪壁に穴を開け光りを灯したのがとてもよい雰囲気を醸し出し美しい光の小道になりました。沿道を通る人達の心にもろうそくの温もりが伝わったのではないかと思います。今年も温かな明かりが灯りました。こんなにきれいなのはなぜでしょう、皆さんの心に届いてくれたのでしょうか。



腰が痛いわ



あったまるね



きれいだね

4. 関連活動

(1) 清掃活動

4月29日(金)、シーニックバイウエイ北海道の清掃活動が小雨降る中実施されました。この日は毎年「シーニックの日」に制定され、地域情報の発信場所や観光客が多く集まる場所で清掃活動が実施されているものです。この日は肌寒く、私達クラブも函館・大沼・噴火湾ルートの活動団体のメンバーとして、訪れる人達に気持ちよく観光していただきたいという想いから参加しました。清掃場所は函館市五稜郭公園の道路沿いを歩き、手にヒバサミやゴミ袋を持って歩きました。ソメイヨシノのつぼみはふくらみ、今にも咲きそうな雰囲気を漂わせていました。あともう少しで花見ができそうです。この地道な活動はとても大事なことだと思っていますが、まだまだ国道沿いには雪解けが始まると沢山のゴミが目につきます。日頃から1人1人のちょっとした心遣いが必要な気がします。いつの日か、この活動がなくなる事を願っています。



無いようで落ちてるね



皆さんお疲れ様でした

(2) ひろめ舟祭り

平成23年6月11日(土)、例年通り6月の第2土曜日に白尻漁港で行われました。南茅部縄文文化創生の会との共催で北の縄文CLUBが参加しました。今年は特に「北日本大震災支援！がんばれ！海の友！」との募金活動の呼びかけがありました。参加3年目にして公式ポスターのイベント内容に

「縄文文化交流コーナー」として、多彩な展示がされました。生産段階のエコラベル承認を受けた南茅部の定置網漁の紹介や縄文遺跡から出土した海の生き物の紹介やその中で現在も見つかる貝類などの生物展示、北海道大学水産学部のアイナメの人工養殖の紹介、南茅部ミニ文学館のテーマで、南茅部が描かれた映画や南茅部ゆかりの作者の文学作品の展示が紹介されました。



火起こし体験



孫にお土産買ったよ



1人で、できるよ

今回は、ひろめ舟の現物展示が実現しませんでした。作られた当時の関係者などの記された立派な看板が展示されました。CLUBの勾玉づくり体験コーナーでは、大勢の子供達が参加し、滑石の粉で真っ白になりながら勾玉づくりを楽しんでいました。用意していた材料がすべて完売になる大盛況で終わることが出来ました。天気に恵まれ、野外の火起こし体験も男の子に好評でした。

(3) 北の縄文文化回廊づくり推進協議会総会出席

9月18日(日)青森県三内丸山にて、理事会と総会が行なわれ出席しました。この会は北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県で縄文文化遺産の保存・活用に携わっている18の民間団体によって平成20年に設立されたもので当クラブもその活動団体として参加しています。北海道・北東北地域に存在する縄文文化遺産などの価値を見直し、地域間交流や情報発信を行う事により、地域の魅力と価値を内外にアピールすることを目的としており、「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向け、普及・啓発活動もおこなっております。今回の会議では縄文検定について話し合われました。



会議前のくつろぎ



会長の挨拶



サンマル君とハイチーズ

(4) 縄文体験ツアー

10月2日が土器づくり・15日が土器焼きと2日間の日程で渡島総合振興局主催の縄文体験ツアーが実施されました。当クラブに協力依頼があり実施したものです。この縄文体験ツアーの目的は地域の縄文文化を応援する「縄文サポーター」を育成するための講座です。

内容については縄文文化や世界文化遺産についての講義・道内最大スケールの鷲ノ木ストーンサークル見学・縄文式土器の野焼き製作体験・自然との共生、縄文の森体験などのメニューが盛りだくさんありました。参加者は縄文に興味のある方ばかりで熱心に聞いたり見たり質問したり、熱意が伝わってきていました。私たちも協力しながらも知識を深めて、もっと皆さんにわかりやすく教えられるよう勉強していきたいと思いました。



真剣そのもの



無事に焼けたかな

10月15日土器焼き当日、前日に雨が降っていたので駄目かなと思いましたが、決行することになりました。土器を焼く場所が湿っていた為、早めに火入れをしました。それが良かったのか順調に土器を焼くことが出来ました。中には乾燥が足りなくて割れてしまった土器もありましたが、その他は無事焼きあがりました。久しぶりの野焼きだったので、途中時々雨も降る等、不安もありましたが無事終えた事に満足感や安どの声が聞こえていました。

5. 縄文を学ぶ

(1) 国際シンポジウムに参加

NPO法人函館市埋蔵文化財事業団とドイツ考古学研究所の主催による、縄文文化をテーマにした国際シンポジウム「縄文文化とユーラシアの様相」が10月29日・30日の両日、函館山山頂のクレモナホールで開幕しました。シンポジウムには世界5カ国から研究者が集まりました。道内唯一の「中空土偶」を展示する函館市縄文文化交流センターオープン記念や、日独交流150周年記念事業の一環として開かれました。

初日は開会セレモニーや基調講演が行なわれました。また、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の2015年度の世界遺産登録に向け機運を高めることを狙いとしています。札幌から参加された方がバスの中で「来てよかったわ、なかなか聞けないもの、私の財産になりました。」と言っておりました。とても素晴らしいシンポジウムでした。



ドイツの研究者とパチリ

(2) 縄文の漆フォーラムに参加

平成24年2月11日（土）、函館は記録的な降雪が観測されたなか、函館市縄文文化交流センターにおいて世界最古の漆糸製品復元プロジェクト検討委員会主催の基調講演と事例報告がありました。基調講演では、岡村道雄氏（奥松島縄文村歴史資料館名誉館長）による日本の漆文化のはじまりについて講演され、事例報告では垣ノ島B遺跡の漆糸製品に関する所見についての観察結果報告や、漆の出土状況と土坑の取り上げ作業やクリーニングの状況などが報告され、みなさん熱心に聞き入っていました。とても興味深く貴重なお話ばかりでした。



パネルディスカッションの様子

2012年5月31日 第14号発行
発行 北の縄文CLUB
連絡先 北海道函館市臼尻町603-1
特定非営利活動法人
函館市埋蔵文化財事業団内
TEL 0138-25-5510
FAX 0138-25-5606